

技術講演会「高齢化社会における治療用機器・部材の現状と将来」

日本は世界の中で一番高齢化が進んでおり、健康寿命の達成に資する新しい治療機器・部材の開発に期待が集まっています。

今回、当該分野において基礎から応用の分野で活躍しておられる先生方にご講演をいただきます。今後の研究・技術の開発推進に役立てていただければ幸いです。

【主催】公益財団法人名古屋産業振興公社 人工関節研究会
名古屋国際見本市委員会

【日時】平成28年11月17日(木) 13:00～16:00

【場所】吹上ホール(名古屋市中小企業振興会館) 2F セミナー会場③

【参加費】無料

【定員】100名

【申込先】第6回次世代ものづくり基盤技術産業展-TECH Biz EXPO-ホームページ
<http://www.techbizexpo.com> にて受付

【題目】

1. 金属系生体材料の開発と応用 (13:00～13:50)

東京医科歯科大学 副理事(研究担当)

生体材料工学研究所 金属生体材料学分野 教授 埜 隆夫 氏

2. カスタムインプラントの小経験と展望 (13:50～14:40)

名古屋市立大学 大学院医学研究科 社会復帰医学講座 関節再建医学分野
教授 井口 普敬 氏

3. 診断・治療における内視鏡イメージング技術の現状と将来 (14:40～15:20)

オリンパス(株) 技術開発部門 医療要素開発本部

医療要素開発1部 開発2グループ 課長 五十嵐 誠 氏

4. 3Dによる治療用部材の試作と展望 (15:20～16:00)

(株) J・3D 代表取締役 高関 二三男 氏

【申込に関するお問合せ先】名古屋国際見本市委員会 事務局 Tel052-735-4831

【その他お問合せ先】(公財)名古屋産業振興公社 研究推進部 (担当: 亀山・山本)

Tel052-736-5680 e-mail:kameyama@nipc.or.jp